



平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月6日
上場取引所 東

上場会社名 ヤマハ発動機株式会社
コード番号 7272 URL <http://www.yamaha-motor.co.jp/profile/ir/index.html>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳 弘之
問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 石井 武夫 TEL 0538-32-1103
四半期報告書提出予定日 平成24年11月7日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績（平成24年1月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	909,473	△7.7	22,804	△62.4	28,046	△58.7	14,302	△64.2
23年12月期第3四半期	985,751	△0.2	60,723	24.5	67,862	10.5	39,989	28.7

(注) 包括利益 24年12月期第3四半期 16,500百万円 (△27.5%) 23年12月期第3四半期 22,754百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	40.97	ー
23年12月期第3四半期	114.55	114.55

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	903,062	315,803	31.7
23年12月期	900,420	309,914	31.2

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 286,686百万円 23年12月期 280,763百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	ー	0.00	ー	15.50	15.50
24年12月期	ー	5.00	ー		
24年12月期（予想）				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

平成24年12月期の配当予想は、下記の通期連結業績予想より配当性向(連結)20%を基準に算出しています。

3. 平成24年12月期の連結業績予想（平成24年1月1日～平成24年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,200,000	△6.0	28,000	△47.6	34,000	△46.5	17,000	△36.9	48.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年12月期3Q	349,757,784株	23年12月期	349,757,784株
② 期末自己株式数	24年12月期3Q	664,495株	23年12月期	662,543株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年12月期3Q	349,094,356株	23年12月期3Q	349,096,264株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点において入手可能な情報に基づき、当社が合理的であると判断した見通しであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経営環境の変化、市場の需要動向、為替の変動等のリスク、不確実性等の要因により、大きく異なる可能性があります。リスク、不確実性等の要因に関する詳細は、当社の第77期有価証券報告書（平成24年3月26日提出）に記載していますのでご参照下さい。また、業績予想に関しては添付資料5ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

(2) 当社は以下のとおり四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する決算補足説明資料などは、開催後速やかに当社ホームページに掲載します。

・平成24年11月6日(火)・・・機関投資家・証券アナリスト向け決算説明会

(3) 文章中における億円の単位の表示は、億円未満を四捨五入しています。

○添付資料の目次

《売上高のセグメント別情報》	2
1. 当四半期決算に関する定性的情報	3
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	3
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) セグメント情報等	11
(7) 追加情報	12

《売上高のセグメント別情報》

(単位：千台、百万円)

セグメント		前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)			当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)			
		数量	金額	構成比 %	数量	金額	構成比 %	
合計	日本	—	108,491	11.0	—	117,587	12.9	
	海外	—	877,260	89.0	—	791,885	87.1	
	地域別内訳	北米	—	126,052	12.8	—	141,636	15.6
		欧州	—	121,312	12.3	—	103,974	11.4
		アジア	—	488,453	49.6	—	419,296	46.1
		その他	—	141,440	14.3	—	126,978	14.0
	計	—	985,751	100.0	—	909,473	100.0	
一輪車	日本	80	28,582	4.1	73	27,844	4.7	
	海外	5,247	662,929	95.9	4,448	569,936	95.3	
	地域別内訳	北米	45	26,726	3.9	51	30,733	5.1
		欧州	150	74,668	10.8	135	63,966	10.7
		アジア	4,632	462,845	66.9	3,864	393,475	65.8
		その他	421	98,688	14.3	398	81,761	13.7
	計	5,328	691,511	70.2	4,521	597,781	65.7	
マリン	日本	—	16,770	11.9	—	20,304	13.2	
	海外	—	123,618	88.1	—	133,679	86.8	
	地域別内訳	北米	—	61,478	43.8	—	72,179	46.9
		欧州	—	31,292	22.3	—	26,843	17.4
		アジア	—	7,997	5.7	—	8,654	5.6
		その他	—	22,850	16.3	—	26,002	16.9
	計	—	140,388	14.2	—	153,983	16.9	
特機	日本	—	8,947	12.6	—	11,436	15.7	
	海外	—	62,207	87.4	—	61,328	84.3	
	地域別内訳	北米	—	36,675	51.5	—	37,862	52.0
		欧州	—	12,605	17.7	—	11,042	15.2
		アジア	—	4,232	5.9	—	4,669	6.4
		その他	—	8,693	12.3	—	7,754	10.7
	計	—	71,154	7.2	—	72,765	8.0	
産業用機械・ロボット	日本	—	11,907	44.8	—	12,139	49.0	
	海外	—	14,663	55.2	—	12,656	51.0	
	地域別内訳	北米	—	1,143	4.3	—	858	3.5
		欧州	—	2,217	8.3	—	1,607	6.5
		アジア	—	11,111	41.8	—	10,028	40.4
		その他	—	190	0.8	—	161	0.6
	計	—	26,570	2.7	—	24,795	2.7	
その他	日本	—	42,284	75.3	—	45,862	76.3	
	海外	—	13,841	24.7	—	14,284	23.7	
	地域別内訳	北米	—	28	0.1	—	2	0.0
		欧州	—	529	0.9	—	515	0.9
		アジア	—	2,266	4.0	—	2,468	4.1
		その他	—	11,017	19.7	—	11,298	18.7
	計	—	56,126	5.7	—	60,147	6.7	

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の経済環境は、3月までは回復の動きも見られましたが、4月以降は世界経済全体に減速感が広がり、7月以降も目立った改善は見られませんでした。米国では個人消費は緩やかな回復傾向にあるものの、雇用環境は依然として力強さを欠いています。欧州では、雇用情勢の低迷が続き、個人消費は低調に推移しました。アジアや中南米などの新興国では、月を追うごとに経済の減速傾向が鮮明となりました。日本では、復興需要による下支えがありますが、円高の定着や世界経済の減速などにより、景気下振れの懸念が強まりました。

当第3四半期連結累計期間の販売は、マリン事業が米国や新興国などで増加し、特機事業及び自動車用エンジンも増加しました。一方、二輪車事業の販売は米国では増加しましたが、欧州では減少し、アジア・中南米ではインドネシアやブラジルにおいて需要減少に伴い流通在庫圧縮を目的とした在庫調整を実施したため減少しました。また、前年同期に対し円高になったことによる為替換算影響が△498億円ありました。これらの結果、売上高は9,095億円（前年同期比7.7%減少）となりました。

利益面では、コスト削減活動や原材料価格下落、経費削減による増益があったものの、新興国での二輪車販売減少、円高影響に加え、製造物賠償責任引当金の戻入の影響（前年同期126億円、当期21億円）や将来の成長に向けた開発費の増加などにより、営業利益は228億円（前年同期比62.4%減少）、経常利益は280億円（同58.7%減少）、四半期純利益は143億円（同64.2%減少）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の為替換算レートは米ドル79円（同2円の円高）、ユーロ102円（同11円の円高）となりました。

セグメント別の概況

〔二輪車〕

先進国の販売台数は、米国で前年同期比増加しましたが、欧州では南欧を中心に引き続き需要が低迷し、先進国全体では減少しました。新興国の販売台数は、タイやインドでは増加しましたが、在庫調整を実施したインドネシアやブラジル、景気が減速しているベトナムで減少し、新興国全体では減少しました。これらの結果、二輪車事業の販売台数は452万台（前年同期比△81万台、15.2%減少）となりました。売上高は円高影響などもあり5,978億円（同13.6%減少）、営業利益は28億円（同91.6%減少）となりました。

インドネシアでは、7月にフュエル・インジェクション（FI）を新採用し、スポーティな走りや燃費経済性を進化させたモペット JUPITER Z1、9月にMio Jシリーズの新たなバリエーションとしてMio J Sportyを投入しました。また、同国では第3四半期に在庫調整を実施したことにより、在庫水準の適正化が完了しました。インドでは、スクーター需要が伸長する中、同国においては当社初となるスクーターモデルCYGNUS RAYを9月に投入しました。

〔マリン〕

米国では需要の回復により、船外機やウォータービークルの販売台数が増加しました。また、ロシア、アジア、中南米などの新興国でも船外機の販売台数が増加し、加えて日本では復興需要により漁船・和船、船外機の販売台数が増加しました。これらの結果、マリン事業全体では、売上高は1,540億円（前年同期比9.7%増加）、営業利益は107億円（同25.4%増加）となりました。

〔特機〕

四輪バギーの販売は減少しましたが、ゴルフカーの販売は米国を中心に増加しました。また、発電機の販売は日本での防災意識の高まりなどにより増加しました。これらの結果、特機事業全体では、売上高は728億円（前年同期比2.3%増加）となりました。営業利益は、製造物賠償責任引当金の戻入の影響（前年同期126億円、当期21億円）などもあり、27億円（前年同期比71.4%減少）となりました。

〔産業用機械・ロボット〕

サーフェスマウンターの販売は、スマートフォンやタブレット端末関連需要が好調に推移しましたが、世界的に設備投資が抑制傾向にあり、全体では減少しました。これらの結果、産業用機械・ロボット事業全体では、売上高は248億円（前年同期比6.7%減少）、営業利益は38億円（同30.4%減少）となりました。

〔その他〕

自動車用エンジンの売上高は震災の影響を受けた前年同期に比べ増加しましたが、電動アシスト自転車の売上高は減少しました。その他の事業全体では、売上高は601億円（前年同期比7.2%増加）、営業利益は29億円（同35.5%減少）となりました。

(参考情報)

所在地別情報（売上高には所在地間の内部売上高を含みます。）

〔日 本〕

米国向けの船外機や二輪車の生産、出荷が増加したことに加え、自動車用エンジン、発電機などの出荷が増加したことにより、円高影響はあったものの、売上高は4,041億円（前年同期比6.1%増加）、営業損失26億円（前年同期は営業損失66億円）となりました。

〔北 米〕

米国で、船外機、ウォータービークル、二輪車及びゴルフカーなどの販売台数が増加したことにより、売上高は1,550億円（前年同期比12.7%増加）となりました。営業利益は、製造物賠償責任引当金の戻入れの影響に加え、円高による為替換算影響などもあり、82億円（同12.3%減少）となりました。

〔欧 州〕

ロシアで二輪車、船外機共に販売台数が増加しましたが、欧州全体では二輪車、船外機共に販売台数が減少し、売上高は1,050億円（前年同期比14.0%減少）、営業損失21億円（前年同期は営業利益15億円）となりました。

〔アジア〕

二輪車の販売台数は、タイ、インドでは増加しましたが、インドネシアやベトナムで減少したことにより、アジア全体では減少しました。売上高は、円高による為替換算影響もあり4,418億円（前年同期比12.8%減少）、営業利益は159億円（同63.9%減少）となりました。

〔その他〕

船外機の販売台数は増加しましたが、二輪車の販売台数はブラジルなどで減少しました。円高影響などもあり、売上高は1,003億円（前年同期比16.5%減少）、営業利益は39億円（同66.6%減少）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態の分析

流動資産が前期末比10億円、固定資産が同16億円増加したことにより、総資産は同26億円増加し9,031億円となりました。また、四半期純利益143億円、配当金の支払い72億円により株主資本が同70億円増加したことなどにより、純資産は同59億円増加し3,158億円となりました。これらの結果、自己資本比率は31.7%、D/Eレシオ（グロス）は1.1倍となりました。

②キャッシュ・フローの状況

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

当第3四半期連結累計期間においては22億円のプラス（前年同期は534億円のプラス）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益264億円（同666億円）に対し、売上債権の増加65億円（同78億円の減少）、たな卸資産の増加122億円（同83億円の増加）など運転資金の増加によります。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

当第3四半期連結累計期間においては364億円のマイナス（前年同期は340億円のマイナス）となりました。これは、新興国での将来の成長に向けた二輪車生産設備の取得などによります。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

当第3四半期連結累計期間においては164億円のプラス（前年同期は330億円のマイナス）となりました。これは、運転資金の増加などに伴い短期借入により資金調達したことなどによります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間のフリー・キャッシュ・フローは△341億円、当第3四半期連結会計期間末の有利子負債は3,027億円、現金及び現金同等物は1,191億円となりました。なお、有利子負債には販売金融に関する借入金が、1,126億円含まれています。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年12月期通期の連結業績予想につきましては、当第3四半期まではほぼ計画通りの進捗となっているため、平成24年8月7日の第2四半期決算発表時に公表した予想を変更していません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	133,707	119,223
受取手形及び売掛金	166,531	171,387
商品及び製品	134,215	147,866
仕掛品	39,971	40,402
原材料及び貯蔵品	39,372	36,852
その他	53,705	52,822
貸倒引当金	△6,297	△6,310
流動資産合計	561,205	562,244
固定資産		
有形固定資産	248,430	249,868
無形固定資産	3,469	3,425
投資その他の資産		
投資その他の資産	88,911	89,125
貸倒引当金	△1,596	△1,601
投資その他の資産合計	87,314	87,523
固定資産合計	339,214	340,818
資産合計	900,420	903,062
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	121,974	116,901
短期借入金	42,919	74,482
1年内返済予定の長期借入金	69,398	58,788
賞与引当金	9,292	15,151
製品保証引当金	25,112	18,642
その他の引当金	1,137	969
その他	96,581	71,500
流動負債合計	366,415	356,437
固定負債		
長期借入金	162,403	169,444
退職給付引当金	39,611	42,771
その他の引当金	7,590	4,945
その他	14,484	13,660
固定負債合計	224,090	230,822
負債合計	590,505	587,259

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	85,666	85,666
資本剰余金	74,582	74,582
利益剰余金	249,478	256,469
自己株式	△683	△685
株主資本合計	409,044	416,033
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,470	△1,594
土地再評価差額金	11,050	11,049
為替換算調整勘定	△137,860	△138,802
その他の包括利益累計額合計	△128,280	△129,347
新株予約権	109	109
少数株主持分	29,042	29,007
純資産合計	309,914	315,803
負債純資産合計	900,420	903,062

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	985,751	909,473
売上原価	763,839	729,037
売上総利益	221,912	180,436
販売費及び一般管理費	161,188	157,631
営業利益	60,723	22,804
営業外収益		
受取利息	5,951	4,271
その他	10,945	10,888
営業外収益合計	16,896	15,159
営業外費用		
支払利息	5,304	5,089
為替差損	2,246	2,115
その他	2,206	2,713
営業外費用合計	9,757	9,918
経常利益	67,862	28,046
特別利益		
固定資産売却益	256	155
特別利益合計	256	155
特別損失		
固定資産処分損	429	568
減損損失	—	1,056
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	552	—
災害による損失	314	—
その他	218	130
特別損失合計	1,515	1,755
税金等調整前四半期純利益	66,602	26,445
法人税、住民税及び事業税	20,856	12,672
法人税等調整額	△849	△3,170
法人税等合計	20,007	9,502
少数株主損益調整前四半期純利益	46,594	16,943
少数株主利益	6,605	2,641
四半期純利益	39,989	14,302

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	46,594	16,943
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,154	△122
為替換算調整勘定	△21,371	△366
持分法適用会社に対する持分相当額	△313	46
その他の包括利益合計	△23,840	△442
四半期包括利益	22,754	16,500
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,735	13,298
少数株主に係る四半期包括利益	4,019	3,202

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	66,602	26,445
減価償却費	24,853	24,913
減損損失	—	1,056
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,304	△543
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,770	2,325
製造物賠償責任引当金の増減額 (△は減少)	△13,362	△2,657
受取利息及び受取配当金	△6,415	△4,578
支払利息	5,304	5,089
有形及び無形固定資産売却損益 (△は益)	△119	△33
有形及び無形固定資産処分損益 (△は益)	429	568
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	552	—
売上債権の増減額 (△は増加)	7,844	△6,527
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△8,323	△12,171
仕入債務の増減額 (△は減少)	14,105	△3,363
その他	△15,684	△9,747
小計	78,254	20,775
利息及び配当金の受取額	7,729	5,773
利息の支払額	△5,902	△5,256
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△26,665	△19,081
営業活動によるキャッシュ・フロー	53,416	2,212
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,354	△298
定期預金の払戻による収入	2,891	313
有形及び無形固定資産の取得による支出	△31,200	△33,344
有形及び無形固定資産の売却による収入	871	1,134
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△3,029
その他	△5,230	△1,125
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34,022	△36,350
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△810	34,804
長期借入れによる収入	10,032	74,248
長期借入金の返済による支出	△36,964	△78,718
自己株式の増減額 (△は増加)	△1	△1
配当金の支払額	—	△7,157
少数株主への配当金の支払額	△4,924	△6,506
その他	△293	△289
財務活動によるキャッシュ・フロー	△32,962	16,379
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,282	2,756
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△19,850	△15,001
現金及び現金同等物の期首残高	203,878	133,593
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	97	548
現金及び現金同等物の四半期末残高	184,125	119,139

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

前第3四半期連結累計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日）

平成23年3月24日開催の第76期定時株主総会決議に基づき、資本準備金23,814百万円、利益準備金3,775百万円を減少させ、それぞれその他資本剰余金と繰越利益剰余金に振替えるとともに、その他資本剰余金のうち23,565百万円を繰越利益剰余金に振替え、第1四半期連結会計期間において欠損を填補しました。

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日）

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	二輪車	マリン	特機	産業用機械 ・ロボット	計				
売上高									
外部顧客への売上高	691,511	140,388	71,154	26,570	929,625	56,126	985,751	-	985,751
セグメント間の 内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	19,614	19,614	△19,614	-
計	691,511	140,388	71,154	26,570	929,625	75,741	1,005,366	△19,614	985,751
セグメント利益 (注) 2	32,942	8,543	9,329	5,449	56,266	4,457	60,723	0	60,723

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用エンジン、自動車用コンポーネント、電動アシスト自転車、産業用無人ヘリコプターに係る事業を含んでいます。

2 セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	二輪車	マリン	特機	産業用機械 ・ロボット	計				
売上高									
外部顧客への売上高	597,781	153,983	72,765	24,795	849,325	60,147	909,473	-	909,473
セグメント間の 内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	19,575	19,575	△19,575	-
計	597,781	153,983	72,765	24,795	849,325	79,723	929,049	△19,575	909,473
セグメント利益 (注) 2	2,752	10,712	2,672	3,792	19,929	2,875	22,804	0	22,804

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用エンジン、自動車用コンポーネント、電動アシスト自転車、産業用無人ヘリコプターに係る事業を含んでいます。

2 セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において、量的重要性が増加したことに伴い、前第3四半期連結累計期間まで「その他」に含めていた「産業用機械・ロボット」を報告セグメントとしています。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成していません。

(参考情報)

所在地別情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	北米	欧州	アジア	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
外部顧客への 売上高	157,833	125,239	118,213	465,265	119,199	985,751	-	985,751
所在地間の 内部売上高又は 振替高	223,072	12,309	3,794	41,114	864	281,155	△281,155	-
計	380,906	137,548	122,008	506,380	120,063	1,266,907	△281,155	985,751
営業利益又は 営業損失(△)	△6,557	9,399	1,494	43,982	11,565	59,884	839	60,723

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米 …… 米国、カナダ

(2) 欧州 …… オランダ、フランス、イタリア、スペイン、ロシア

(3) アジア …… インドネシア、タイ、ベトナム、中国、台湾、シンガポール、インド

(4) その他 …… ブラジル、オーストラリア、コロンビア、メキシコ

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	北米	欧州	アジア	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
外部顧客への 売上高	169,711	141,776	102,034	396,218	99,732	909,473	-	909,473
所在地間の 内部売上高又は 振替高	234,355	13,228	2,933	45,573	524	296,616	△296,616	-
計	404,066	155,005	104,968	441,791	100,257	1,206,090	△296,616	909,473
営業利益又は 営業損失(△)	△2,600	8,239	△2,093	15,874	3,863	23,283	△478	22,804

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米 …… 米国、カナダ

(2) 欧州 …… オランダ、フランス、イタリア、スペイン、ロシア

(3) アジア …… インドネシア、ベトナム、中国、台湾、タイ、シンガポール、インド

(4) その他 …… ブラジル、オーストラリア、コロンビア、メキシコ

(7) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用していません。